

## ボディカバー・ネル交換手順書



**注意**

カバー交換を行う際は、スチームを止めて**機械が十分に冷めてから**作業を行ってください。冷めずに作業を行いますと**火傷をする恐れ**があります。

1：後裾のボルトを取りはずしやすくするために、“ユニット上昇ボタン”を押し、後押えユニットを上昇させます。

2：電源を切ります。

3：押え板を留めている前後裾のナット（6ヶ所）とスプリングフック（DF500：6ヶ所、KF500：8ヶ所）をはずし、古いボディカバーとボディネルを取りはずします。この時、SUS棒（4本）を取り出してください。  
**スプリングフックは、刃が鋭いので注意してください。**

4：新しいボディネルをボディに乗せ、前後の穴（6ヶ所）をネジピンに通します（写真参照）。

5：ボディネルの脇にSUS棒を通し、スプリングフックで固定します。

6：新しいボディカバーをボディに被せます（写真参照）。

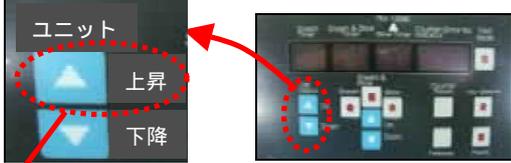
7：押え板をネジピンに通しナットで仮止めします。

**押え板の表裏に注意してください。**

押え板の下に紐を通してください。

8：紐を強く引っ張り結び、ナットを本締めしてください。

**この時、ネジピンの先端がナットの面より出ない位置で固定してください。**



上昇を押す。

1：後押え上昇

2：電源を切る



結び目

3：ボディカバー・ネル取りはずし



押え板

ナット

（前後計6個）



後押え受けの裏を通す。

穴をネジピンに通す。

4：ボディネル取り付け



後押え受けの裏を通す。



穴をネジピンに通す。

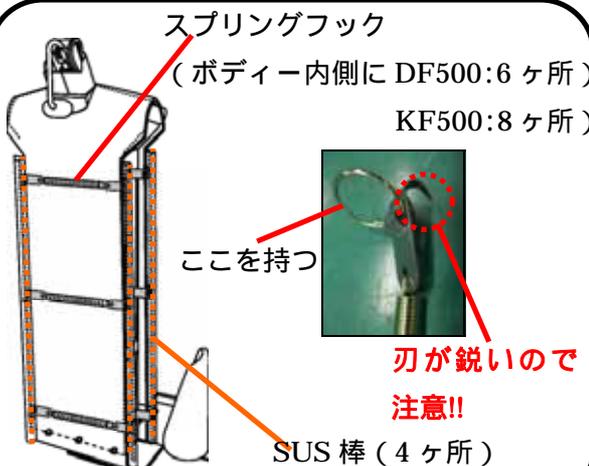


脇の内側を通す。

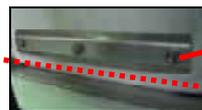


レバーの内側を通す。

6：ボディカバーの取り付け



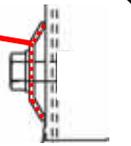
5：SUS棒とスプリングの取り付け



押え板の下に紐を通す。



押え板の表裏に注意。



7：押え板の仮止め

**ボルトは、ネジピンの先端がナットの面より出ない位置で固定する。（ボルトの破損を防ぎます。）**

8：紐を結び、ナットの本締め

管理番号

SP-DF-BC-J-1

適応機種

DF500/KF500

発行元

裁断

三幸社

SANKOSHA

日付

2009年11月

REV

1

# カバー交換手順

## 注意

カバー交換を行う際には必ず電源を切り、スチームを止めてコテ面が十分に冷めてから作業を行ってください。冷めずに作業を行いますと、火傷のおそれがあります。

既存のボディーネル 5mm に装着されているステンレス棒 (4 本) は、新しいボディーネル 5mm に取付けて使いますので、ボディーネル 5mm 交換の際に抜き取ってください。(取付け方法は以下の手順をご参照ください)。

### ■ ボディーネル 5mm, ボディーカバー交換

- ① ボディーにボディーネル 5mm をかぶせ、前後の下部の穴をボディーのネジピンに通します。(図-1)
- ② 既存のボディーネル 5mm より抜き取ったステンレス棒 (4 本) を差し込みます。(図-1)
- ③ スプリング (6 本) をボディーの内側を通して、ステンレス棒にスプリングフックを引っ掛けボディーネルのたるみを取ります。(図-2)
- ④ ボディーネル 5mm にボディーカバーを被せ、ボディーネル 5mm 同様前後の下部の穴をネジピンに通します。(図-3)

- ⑤ カバー押さえ板をピンに取り付け、ナットで仮止めします。(図-3)

※仮止めする時に、ボディーカバーの裾部分のひもをカバー押さえ板の下側を通るように取付けてください。

- ⑥ ボディーカバーの裾をひもで縛って固定します。(図-3)

- ⑦ ⑤で仮止めしたカバー押さえ板をナットで締め、ボディーカバーの前後を固定します。(図-3)  
※ ナットで固定する際に、ネジピンの先端がナットの面より出ない位置で固定してください。  
※ 必要以上に締め込みますと、ネジピンを破損するおそれがあります。

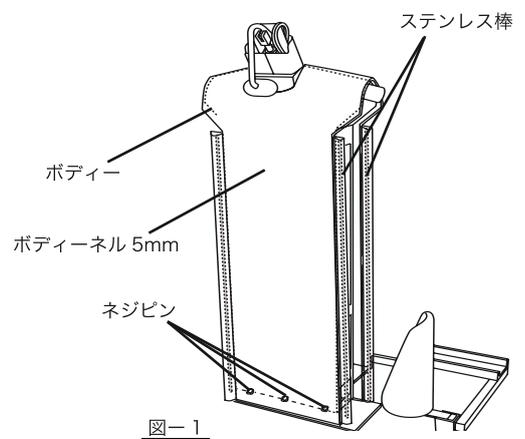


図-1

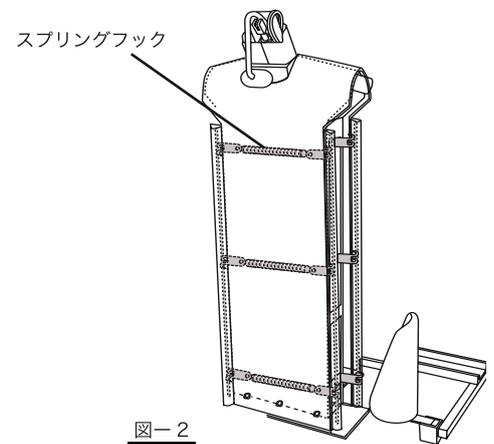


図-2

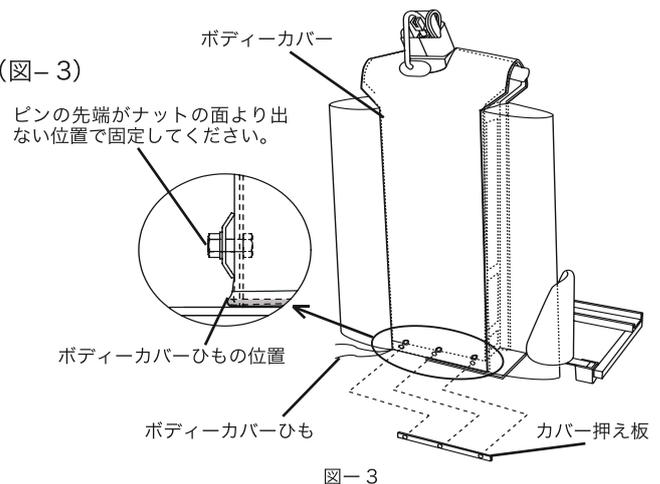


図-3

## その他のカバー交換

表面にしわが出ないように注意して取付けて下さい。

